

～リサーチゼミ『本物と語ろう 医療科学編』を行いました～ (希望者対象)

11月4日に岐阜医療科学大学長で本校卒業生でもある山岡一清先生を講師にお迎えして、リサーチゼミ『本物と語ろう 医療科学編』をオンラインで実施しました。

講義では、ウィルスに関する基礎的な話と、医療従事者がウィルスに対してどのように対処しているのかを、具体例を交えて分かりやすく説明していただきました。



オンラインで講義をしていただきました



質問にも丁寧に答えてくださいました

以下は参加生徒の感想より

今回の講義は、「どのように感染症に立ち向かっているのか」や、「ワクチンの重要性」、「全世界の普及状況」など、さまざまな疑問点を解決でき、医療職を目指す身として貴重な時間を過ごすことができました。講義で得た知識をもとに、今後自分がどのように医療にかかわっていくか考えるきっかけになって良かったです。特に日本と世界の感染症に対する状況についての違いについて興味を持ちました。

微生物の種類ごとに引き起こされる感染症の名前を教えてもらったが、すごく分かりやすかった。また、ウィルスと最近の違いについてあまりよく分かっていなかったので講義で知ることができて良かった。他にも初めて知ることが多く、すごく勉強になった。

将来、人を含めた生物の生命現象について学びたいと考えています。そこでは、生物をミクロ・マクロの世界で考えることが大切だと考えています。微生物と感染症について考える際にも、ミクロ・マクロの世界で見ることが必要であるという点で共通点があるなと感じました。

肉眼で見ることのできないものについて考えることは難しく、感染症には予期せぬものが多いことが分かりました。しかし、自分の体のことであり、想像したり予想を立てることはできると思いました。大学に入って学ぼうと考えている事においても、仮説を立てたり、結果からさらに疑問を持ったりすることを大切にしていきたいと思っています。